

エビデンスに基づきパートナーシップで 展開するヘルスプロモーション

～J-HPH結成10周年と今後の発展～

2024年11月に広島で開催された第30回国際HPHカンファレンスは、多くの皆さまのご協力により大きな成功を収めました。本年のカンファレンスは、エビデンスに基づき、多分野との協働を広げるヘルスプロモーション活動に焦点を当てることにしています。また、J-HPHは2025年に設立10周年を迎えます。この節目の年にふさわしく、国際カンファレンスの成果を礎とした、より充実した企画をご用意しております。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

2025年

11/1^土～2^日

ビジョンセンター東京・京橋

東京都中央区京橋3丁目7-1相互館110タワー4F、8F

アクセス



ポスターセッション
抄録登録

締切: 10月15日(水)

抄録登録要項は、WEBサイトをご覧ください。
優秀演題表彰を閉会式にて行います。

参加費 申込締切: 10月15日(水) 15:00

HPH加盟12,500円／HPH非加盟15,500円

大学生・大学院生2,000円

懇親交流会 6,050円

参加お申込み・懇親交流会・ご宿泊は、J-HPHのWEBサイトからお申込みください。

1日のみ参加の場合も同一金額です。参加費ご入金後の返金はいりませんのでご了承ください。

第10回J-HPH
カンファレンス
2025



11/1^土
13:00～17:30
開場11:00

- 開会式……………13:00～13:20
- 基調講演……………13:20～14:30
「こども食堂と私たちの地域・社会」
湯浅 誠氏 社会活動家 東京大学特任教授 日本福祉大学客員教授 認定NPO法人全国こども
食堂支援センター・むすびえ 公共政策アドバイザー 仙台こども財団 理事長
- パネルディスカッション1…14:40～15:50
「公正な医療のためのエビデンスの構築～民医連2型糖尿病研究を例に～」
- ポスターセッション……………16:00～17:30
- 懇親交流会……………18:00～20:00(会場 ビジョンセンター東京・京橋内)



11/2^日
8:30～13:20
開場8:00

- ワークショップ・シンポジウム……………8:30～11:30
WS1「ロジックモデル入門～事業・活動の社会的インパクトを評価しよう～」(定員:40名)
WS2「『公正な医療の質』って何？～医療の公正さを自己評価してみよう～」(定員:40名)
WS3 The Global Network for Tobacco Free Healthcare Services(GNTH)
『たばこのない社会をめざしていくために我々がやれること』(定員:30名)
シンポジウム「反戦・平和とヘルスプロモーション」
- パネルディスカッション2……………11:40～13:00
「医療と法律のパートナーシップ
～法律家との共同で患者の人権を守り、健康における公正を実現する～」
- 閉会式・ポスターセッション優秀演題表彰…13:00～13:20

11月1日(土)13:00~17:40 受付・ポスター掲示11:00~(1日目)

13:00~13:20	開会式
13:20~14:30	■基調講演 「こども食堂と私たちの地域・社会」
14:40~15:50	■パネルディスカッション1 「公正な医療のためのエビデンスの構築～民医連2型糖尿病研究を例に～」 J-HPHは今年で結成10周年を迎えます。アカデミアと協力して、SDHに着目した研究に取り組むことを重点課題にしています。そこで、民医連2型糖尿病研究を例に、SDHに着目した研究の意義と、得られた研究成果から診療に生かした経験学びます。さらに、同一集団を対象に着手しされたいコホート研究についても紹介します。
16:00~17:30	ポスターセッション
18:00~20:00	懇親交流会

11月2日(日)8:30~13:20 受付:8:00~(2日目)

8:30~11:30	■ワークショップ・シンポジウム WS1「ロジック・モデル入門～事業・活動の社会的インパクトを評価しよう～」 (定員:40名) 「日ごろ取り組んでいる事業や活動の中長期的な目標がぼんやりしている」「やっていることは社会的にどのような意義があるのだろうか?」そんなモヤモヤを抱えていないでしょうか?ロジック・モデルはそのようなモヤモヤに陥らないように、事業目標から逆算して体系的に事業計画を立案するためのモデルです。このWSを通してロジック・モデルについて学び、実習を行うことで、自施設でロジック・モデルを活用する第一歩を踏み出すことができます。ぜひご参加ください。
	WS2「公正な医療の質」って何?～医療の公正さを自己評価してみよう～」 (定員:40名) 国際的には、医療の質の要素として「公正性」を組み入れることに関心が高まっています。その背景は、様々なSDH(所得、人種、移民など)による健康格差が拡大しているからです。しかし、日本の医療の中で「公正性」を評価する事は、一般的には行われていません。そこで、国際HPHネットワークのタスクフォースが開発した「公正性基準の自己評価ツール」を活用した、医療の質を「公正性」の視点で評価する方法を学ぶ企画を準備しました。医療の公正さに関心がある皆さんの関心を待っています。
	WS3 The Global Network for Tobacco Free Healthcare Services(GNTH) 『たばこのない社会をめざしていくために我々がやれること』(定員:30名) 喫煙はリスク要因別の関連死亡者数(2019年厚生労働省)の第2位で、ヘルスプロモーションの介入すべき重要な要因です。喫煙は自身の健康を害するのみならず、家族や周囲の人達の健康への影響も考えられます。さらにタバコに依存することでタバコにしばられた不自由な時間を過ごすこととなります。Tobacco Freeで健康で自由な時間をとりもどしたい、そんな思いでこの企画を考えました。今回は台湾のHPH、GNTH病院を見学しその報告もさせていただきます。是非皆様ご参加下さい。
11:40~13:00	シンポジウム「反戦・平和とヘルスプロモーション」 戦争は最大最悪のSDHです。では反戦平和は、医療人が散り組むべき「医療活動」でしょうか?科学的な研究テーマになるでしょうか?それがこの企画のテーマです。第2次世界大戦終結から80年を迎えた今、世界各地で戦争が進行し多くの命、健康、生活が奪われています。シンポジウムでは戦時下のガザ、広島、原爆、日本が中国で使った毒ガス兵器など、戦争による健康破壊の実態を明らかにします。そして戦争被害者への医療活動を紹介します。命と健康を守る最高の医療は戦争をさせないこと、そのための医療人の取り組みを紹介します。世界では反戦平和をどのように医学医療の中に位置づけているのか、イタリアの医師が報告します。
	■パネルディスカッション2 「医療と法律のパートナーシップ～法律家との共同で患者の人権を守り、健康における公正を実現する～」 本企画では、Medical Legal Partnership(MLP)を取り上げます。MLPは、医療者と弁護士が協力し合うことで、健康の社会的決定要因(SDH)に法的な側面からも解決を図ろうという取り組みです。 演者: 吉田絵理子氏(一般社団法人にじいろドクターズ・川崎医療生活協同組合 川崎協同病院 総合診療科 教育担当) 村上 晃氏(日弁連第65回人権擁護大会シンポジウム「人権としての『医療アクセス』の保障」実行委員会 実行委員長・日弁連貧困問題対策本部社会保障PT座長・長野県弁護士会) 森 弘典氏(同実行委員会 事務局長・愛知県弁護士会) 猪股 正氏(同実行委員会 副実行委員長・日弁連貧困問題対策本部副本部長・埼玉弁護士会) コメンテーター: 竹下 義樹氏(日弁連貧困問題対策本部副本部長・京都弁護士会・(社福)日本視覚障害者団体連合 会長) 司会: 武田 裕子氏(順天堂大学大学院 医学研究科医学教育学 教授) 舟越 光彦 (日本HPHネットワークコーディネーター・公益社団法人福岡医療団 理事長・千鳥橋病院 予防医学科 科長)
	13:00~13:20 ポスターセッション優秀演題表彰・閉会式

- 環境に配慮した運営のため、紙資料の配布はございませんのでご了承ください。講師、企画の詳細は、WEBサイトをご参照ください。
- 2日目のワークショップ・シンポジウム資料はお申込みの企画のみデータにてお送りします。